



第18回牛乳紙パックで
『遊ぶ学ぶ』
コンクール2018

「気づき」の記録

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は、牛乳をはじめとする各種飲料用紙パックを素材とした工作の機会を提供することで、より多くの子どもたちに造形活動に楽しく取り組んでもらいたいと思っています。また、工作を通じて環境への思いやりを育みたいと、紙の循環や森林資源、地域や地球にやさしい行動など、気付いたこと、思ったことを感想文に書いてもらっています。

この記録は、2018年の佳作以上に入賞した30作品を制作した子ども達の感想文集です。



編集・発行 「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」実行委員会
協賛 全国牛乳容器環境協議会、一般社団法人日本乳業協会

最優秀賞

『牛乳パックバッグ』

松澤 匡さん 埼玉県川越市立霞ヶ関東小学校 5年

一昨年はサッカーボール、去年はサッカーシューズを作ったので、今年はこの二つを入れるためのバッグを作りたいと思いました。まず、自分のサッカーバッグを参考にして、できるだけ簡単な形になるように型紙を作りました。次に、牛乳パックを1センチ幅に切って、バッグのそく面を筒状に編んでいきました。編むと丈夫になることは、去年のシューズで学びました。去年とちがう所は、表の紙を1枚はがしたことです。少しやわらかくなり、楽に編むことができました。次に、牛乳パックをあえてクシャクシャにしました。牛乳パックは固くてじょうぶなことが特性ですが、今回のバッグ作りには固すぎました。クシャクシャにすることで、ミシンでぬうことができました。パーツはすべて、一枚はがして使ったのですが、牛乳パックは何そうにもなっていて均等にはがすのはとても苦労しました。でも、牛乳パックの構造を知り、良い学びとなりました。一番のお気に入り、牛乳パックを丸めてボタンにしたところです。今年も、母や祖母にアドバイスをもらって作品を作ることができ、感しゃの気持ちでいっぱいです。これからも僕は、牛乳パックで身近な物をもっともって作っていきたいです。



優秀賞

『牛乳パックのパンダ』

稲垣 優衣さん 埼玉県さいたま市立浦和別所小学校 4年

工夫したところは二か所です。パンダの体の色はめつたりせず、パックそのものの色を使って表現しました。牛乳パックに黒はなかったので、白と紺の2色で表現しました。また、笹の葉っぱは、うすくさいた牛乳パックをはり合わせて、本物に近づくようにしました。体も、牛乳パックをうすくさいて、はって作りました。厚みがあるとすぐにはがれてしまい、うすいと、きれいに簡単にはれました。でも途中でやぶれたり、すけるほどうすくなってしまい、ちょうどよい厚みにさくために47枚もの牛乳パックを使いました。一学期に学校のゴミスクールで、埋立地はとても広いけれど、そこがいっぱいになってしまうと、他の広い場所を探さなくてはいけないことを知りました。そうならないように、ペットボトルや紙パックは洗ってリサイクルに出して、ごみを増やさないようにしています。これからも続けたいです。

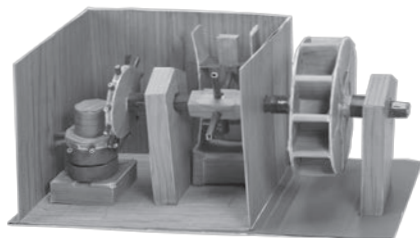


優秀賞

『水車小屋』

山本 幸奈さん 三重県桑名市立多度青葉小学校 4年

牛乳パックの特性を生かして、水で使える物を考え、水車を作ろうと思いました。初めに水車について調べたら、昔から、生活に欠かせない道具だったということがわかりました。そして、どうせなら、水車小屋の中身も全部作りたと思いました。動く仕掛けをつくるのに、とても苦労しました。最初の仕掛けは、小麦やそばなどのからをむくだっこ機で、水車の回転に合わせて、軸から突き出た棒が木づちを上を持ち上げ、棒が外れると落下します。スムーズに動くように、木づちの重さをちょうせつするのが大変でした。次の仕掛けは、実をこなにするひきうすです。たて回転の歯車を横回転の歯車につなげて、石うすを回すのですが、とにかく苦労しました。上から水を注ぐと水車が回り、だっこ機とひきうすが動いた時はとても感動しました。電気やガスのエネルギーではなく、流れる水を利用するところがエコで、昔の人はすごいなあと思いました。



全国小中学校環境教育研究会賞

『ぼくのエコ地球儀』

幸田 悠生さん 京都府京都市立御所南小学校
4年

地球儀が好きで、触ったりまわしたりしています。あるときその感触が「牛乳パックに似ている」と思い、地球儀を作ろうと思いました。工夫したところは、経線と赤道に沿ってパーツを作り、あみこんで壊れにくくしたところです。球体をささえるフレームを安定させるのも難しかったです。この地球儀のような緑がたくさんあり、きれいな海もある地球がずっと続いてほしいと思います。そのためには、自然を守り、木から作ったせいで品をリサイクルし、大切に使いしていきたいと思います。

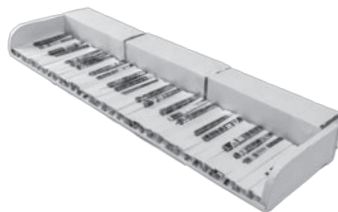


全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞

『お姉ちゃんのピアノ』

牛本 敦也さん 広島県呉市立長迫小学校 5年

お姉ちゃんが「ピアノがほしい」と言っていたので、夏休みに作ってあげようと思いました。けんぱんと同じ幅にパックを切って並べていたら、お姉ちゃんに「動かないんだ」と言われた!!パックを折りたたんでバネみたいにしたらはね返るようになった。遊び終わったらリサイクルできるように、牛乳パックだけで作りました。



全国牛乳容器環境協議会賞

『モザイクアート リサイクルポスター』

日野 琴美さん 岐阜県高山市立江名子小学校 3年
しっかり分べつしてもらおうと思って、牛乳パックでポスターを作りました。1センチメートルの四角に、小さく切ったパックをはめて、ボンドやテープではりつけていきました。赤や青のパックは文字や絵に使いました。わたしはいつも、ゴミを分べつしています。



日本乳業協会賞

『牛乳パック日本丸』

安藤 心音さん 岐阜県岐阜市立長良東小学校 6年

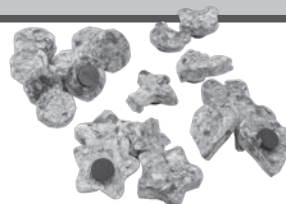
日本丸のきれいな船体の形を再現するために、木造船を参考にして、細く切った牛乳パックを並べることにしました。ボンドでつけたのですが、紙と紙のスキマから水が入ってきてしまい、ボンドさがしに苦労しました。出来上がりはきれいな曲線がさいげんでできてうれしいです。



審査委員会 特別賞

『牛乳パックマグネット』

神奈川県横浜市立盲特別支援学校
グループ制作 角田彩音さん 6年 團原昇汰さん 6年
高瀬勇太郎さん 4年 武藤香暖さん 3年 安東奏音さん 2年



工夫したところ「たくさん作るためにミキサーを使ってパックを細かくしました」「お花紙を入れてきれいな作品になるようにしました」どのように使ったか「冷蔵庫や黒板に手紙を貼るときに使いました」できあがった感想「おうちで使えるものが作れてよかった」「家族に喜んでもらえたら嬉しい」「飲んだら捨ててしまう牛乳パックが使えるものになって嬉しかった」

『はじめてのキャンプ』

野村彩蓮さん 岐阜県神戸町立南平野小学校 1年

なつやすみに、はじめてキャンプにいきました。わたしは、ひおこしとおめをとぐかかりをしたので、パックでつくってみようとおもいました。パックのいろをそのままいかしました。がっこうでは「エコのひ」にアルミかんとぎゅうにゆうパックをあつめています。これからも、すてずにリサイクルをしていきたいです。



『ティラノサウルス』

田之上昊さん 奈良県斑鳩町立斑鳩東小学校校 1年

むずかしかったところは、からだです。てとあしは、かんたんにできました。できたときはうれしかったです。このきょうりゅうは たつこともできます。

『火消し纏』

若山怜穂さん 大阪府島本町立第二小学校 1年

もちでのぼうをつくるときに、ほそいぼうにぎゅうにゆうパックをまきつけてつくったのですが、かみがたくてなかなかまるめることができずたいへんでした。いもうととひげしやさんごっこをしてあそびました。



『くわがたとかぶとむし』

渡辺ハルさん 長崎県長崎南山小学校 1年

こんちゅうがだいすきで、くわがたとかぶとむしをかっているの、みながつくりました。ちょっときるのがむずかしかったけど、たのしいなとおもいました。もっともつとたくさんのしゆるいをつくりたいとおもいます。

『ひニヤ人形』

那須彩音さん 広島県広島市立中筋小学校 2年

牛にゆうパックのがらがきものにびったりだと思ったので、おひなさまをつくりました。ぼんぼりを作るのに、牛にゆうパックを細ながくきって、おるのがむずかかった。ねこの形にしたところがきいています。





『ナイトのよろい』

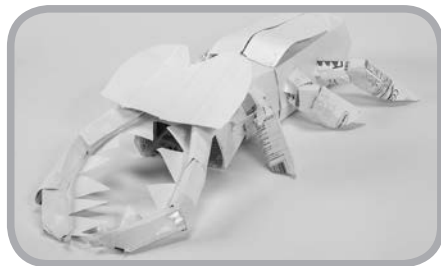
田村凌一さん 広島県広島市立中筋小学校 2年

1年生の夏休みにナイトのかぶとを作ったので、今年のかぶとにあわせてよろいを作りました。バックをはさみで切るのはきょ年よりうまくできましたが、かたのカーブづくりがむずかしかったです。自ぶんの体にあわせるくふうをし、けんの手をすどくしたら、本ものみたいにできました。かっこいいのが出来て、大まん足です。

『きょ大クワガタ』

田中篤さん 岩手県洋野町立帯島小学校 2年

夏にとったみやまくわがたをみて作りました。足のかんせつを作るところがむずかしかったです。かんせいしたのを、いとこたちにみせました。家でのだん牛にゆうパックは学校にもって行って、リサイクルにだしています。



『おちゃのどうぐ』

土屋悠音さん 神奈川県相模原市立淵野辺小学校 2年

ちゃせんのほのぶぶんを細く切るところと、おちゃわんをきれいな形にするのがむずかしかったです。ひいおばあちゃんにプレゼントして、おちゃの点てかたをおしえてもらいました。ぎゅうにゆうパックでできていることにおどろいていました。

『ぎゅうにゆうパックのきょうりゅう』

小林稜空さん 愛知県西尾市立鶴城小学校 2年

お父さんがほねの形にきつたぎゅうにゆうパックを、ぼくがきょうりゅうの形にみ立てました。じょうずにできたので、見るとうれしくなります。また、お父さんといっしょに何か作りたいです。



『牛にゆうパックのきのこがさと長ぐつ』

中戸川琉太郎さん 神奈川県平塚市立富士見小学校 2年

牛にゆうパックは紙なのに、水をとおさなくて強いところがすごいです。その牛にゆうパックでかさをつくろうと思いました。雨の日いきのこがさをさして、犬のさんぽに行きました。雨がふってもぬれませんでした。雨の日がすきになりました。牛にゆうパックはいろいろなものがつくれて大すきです。

『天しのはね』

柳川穂叶さん 岐阜県岐阜市立岐阜小学校 2年

バックをリサイクルに出すためにひらいている時に、かどが羽のじくに見えた。本当の羽をよく見て、むぎに気をつけてこまかく切るのがむずかしかった。学校ではっぴょうした時に、みんながせなかにあてて、あそんでくれて、うれしかったです。





『おさんぽキョウリュウ「牛乳サウルス」』

野間陽斗さん 富山県富山市立上滝小学校 2年

まず、せつけいずを書きました。でも、顔やしっぽが重くて、ささえられるかしんばいだったので、いすのぶぶんは何まいもかさねて体をささえられるようにして、顔としっぽはかるくなるようにしました。いもうとは2才です。外で遊んでいてつかれたら、キョウリュウといっしょに休んでいます。いつもはリサイクルに出している牛乳パックで、いすができたのですごいです。これからもいろいろつくりたいです。

『みんなにやさしい紙パックきょうりゅう』

星龍之介さん 埼玉県久喜市立菖蒲小学校 3年

全体を緑にしたかったので、緑のパックを集めて作り、色はぬらないで、口の中も赤いパックを使って、さいげんした。2本足で立たせるのや、土台にしっかりとめるのがむずかしかったけど、楽しく作ることができたので、リサイクルすることはいいことだと思いました。物を大切にしようと思いました。



『ハートのポップアップカード』

村井真綾さん 茨城県土浦市立荒川沖小学校 3年

11しゆるいもの紙パックを使いました。いろいろな色のハートを作ったからです。むずかしかったのは一つ。紙があつくて、ハートを切るのがとてもたいへんでした。でも、きれいに作れてよかったです。

『このつりざおで大物をつるぞ!』

田尻大翔さん 兵庫県加古川市立加古川小学校 3年

つりがすきなので、つりざおとルアーを作りました。持っているつりざおをよくかんさつして、本物と同じように作りました。リールはじっさいに糸がまけるようにし、とりはずしもできます。ルアーはカラフルにしてほんものの魚に見えるようにくふうしました。へやにかざっていると、つりをしている気分になって、休みの日がたのしみになります。



『アノマロカリス百まいうちわ』

藤山瑛さん 埼玉県北本市立西小学校 4年

牛乳パックをたくさんかさねたので、風がたくさんでるうちわができました。アノマロカリスは、5億年前のカンブリア紀最強の生き物です。海をゆうゆうと泳ぐ姿をイメージして作りました。

『なんでも収納! パックンチョ!!』

七木田優さん 岩手県盛岡市立仁王小学校 4年

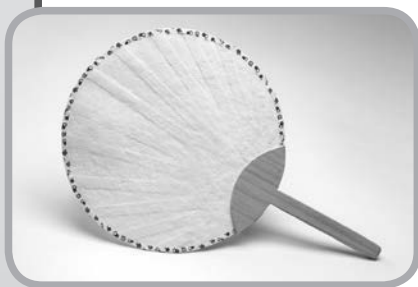
パネで走る車、弟のおもちゃ、せん望きょう・・・ぼくが作ってきた作品の材料は、紙コップ、空き箱、トレイなど。何かに使えないかと取って置いている。その中で紙パックは手に入りやすく、あつかいやすい大事なもの。お世話になっている材料だから、長く使える物を作りたかった。そこで、工作道具入れを思いついた。たくさんの種類の道具を分けて入れられるようにたくさんの仕切りを作ることにした。ふたを開けると全体が立ち上がるようにすることもできた。ますます工作が楽しくなっている。



『紙パックうちわ』

坂本憲哉さん 岐阜県岐阜市立長良東小学校 4年

大きな紙がつかれるように紙すきのかたも手づくりしました。ほねも、紙パックのじょうぶさをいかし、角度をはかって間かくがそろうようにしました。やぶれないようにかわかすのが大へんでした。じょうぶで、あおぎやすく、ずっと持っていたい気分になりました。



『立体牛乳パック富士山』

下村珊瑚さん 静岡県吉田町立住吉小学校 4年

私が住んでいる静岡県で一番有名な富士山を作ることになりました。高さをしようけんしたかったので、牛乳パックを何枚も重ね合わせました。ボンドがはがれてしまい、むずかしかったです。



『木を守るカイトタカ』

高橋快翔さん 宮城県富谷市立あけの平小学校 5年

家のブルーベリーの木を守るために、タカのかたちのカイトを作りました。牛乳パックは水に強いので、雨がふっても外におけるからです。用がすんだら、再利用もできます。牛乳パックはかたくて、切るのやボンドではるのが大変でしたが、きっとブルーベリーを守ってくれると思います。



『ペンギン』

東原寛人さん 大阪府吹田市立古江台小学校 6年

たまっていたパックは青と白ばかり・・・色から考えて、ペンギンを作ることになりました。紙パックを細く切ってペンギンの毛を作りましたが、なかなか毛のようにはみえず、苦労しました。



『ROSEくす玉』

久保結彩さん 福岡県小郡市立三国小学校 6年

くす玉の外がわに66個、くす玉の中からたれ幕と一緒に出てくる1個、合計67個のバラをつけるのが大変でした。ボンドがかたまるまでおさえていないと、すぐに落ちてしまうからです。バラを作ったり、くす玉の作り方を考えたりして、できあがるのに3週間以上かかってしまいました。家族のたん生日に、毎年使おうと思います。



発行／2019年5月
 「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」
 実行委員会事務局
 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-5-801
 Tel. 03-5804-6573
 ＊この冊子に掲載の作文ならびに工作の無断転載を禁じます。

